

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月21日			記入者	
部 名	生涯学習部	課 名	大野北公民館	内 線	659
事務事業名	市民健康まつり				
予算上の事務事業名	公民館活動費大野北公民館				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	15110
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市民健康まつり事業委託要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
市民一人ひとりがスポーツや体力づくりに親しみ、地域での交流を通して健康づくりの輪を広げることにより、心身ともに健康な生活を目指す場とするもの。				大野北公民館区内に住所を有する者	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>参加 1,067人 期日 平成16年5月23日(土)・6月20日(日)の2日間 会場 大野北中学校グラウンド及び同校体育館 内容 ・子どもつどい114人、健康づくりコーナー44人、ハイキング(雨天中止) 計158人 ・ゲートボールのつどい(参加は老人会単位)139人 ・親善球技大会(参加は自治会単位) ソフトボール424人、ソフトミニバレーボール346人 計770人 ・実行委員会等の開催(4回)127人</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況	他公民館も同要綱により実施している。他館と比較し、内容や期間等は同等以上の実施をしている。事業の実施方法については、地域住民等により構成された実行委員会に委託し効率化を図っている。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	100	100	95	95	95
一般財源	100	100	95	95	95
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,262	1,215	647	693	693
事業コスト合計(a)	1,362	1,315	742	788	788
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	市民健康まつり			対象名称(単位)	参加者数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	1,362	1,315	742	693	693
対象数	1,115	1,115	1,067	1,250	1,250
単位あたり経費(円)	1,222	1,179	695	554	554
前年度比		0.97	0.59	0.80	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加人数(人)		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	1,115.0	1,115.0	1,067.0			
目標	1,250.0	1,250.0	1,250.0	1,250.0	1,250.0	
目標達成度	0.89	0.89	0.85			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	親善球技大会参加人数(人)		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	700.0	713.0	770.0			
目標	850.0	850.0	850.0	850.0	850.0	
目標達成度	82.4	83.9	90.6			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		住民の健康増進に対する意識の高揚と自発的な健康づくり活動の支援は必要であり、自らが健康づくりや地域での交流などの観点からも事業の拡充を図る必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
市民総ぐるみ健康づくりの中、地域ぐるみでの特色ある取り組みが求められる。健康まつりを一過性のものとせず、健康づくり関連業務との連動し機会あるごとに地域住民への意識付けを図る。さらに、自治会等の地域関係団体との密接な連携により、スポーツ等を通じての健康づくりを促進する。			事業が地域住民に定着する一方、内容等のマンネリ化により参加者の固定化が進んでいる。多くの住民に運動体験の場の提供等や多世代交流が図れる内容の検討。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		地域との連携を強化し、事業効果を高める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				